

広島市立北部医療センター安佐市民病院

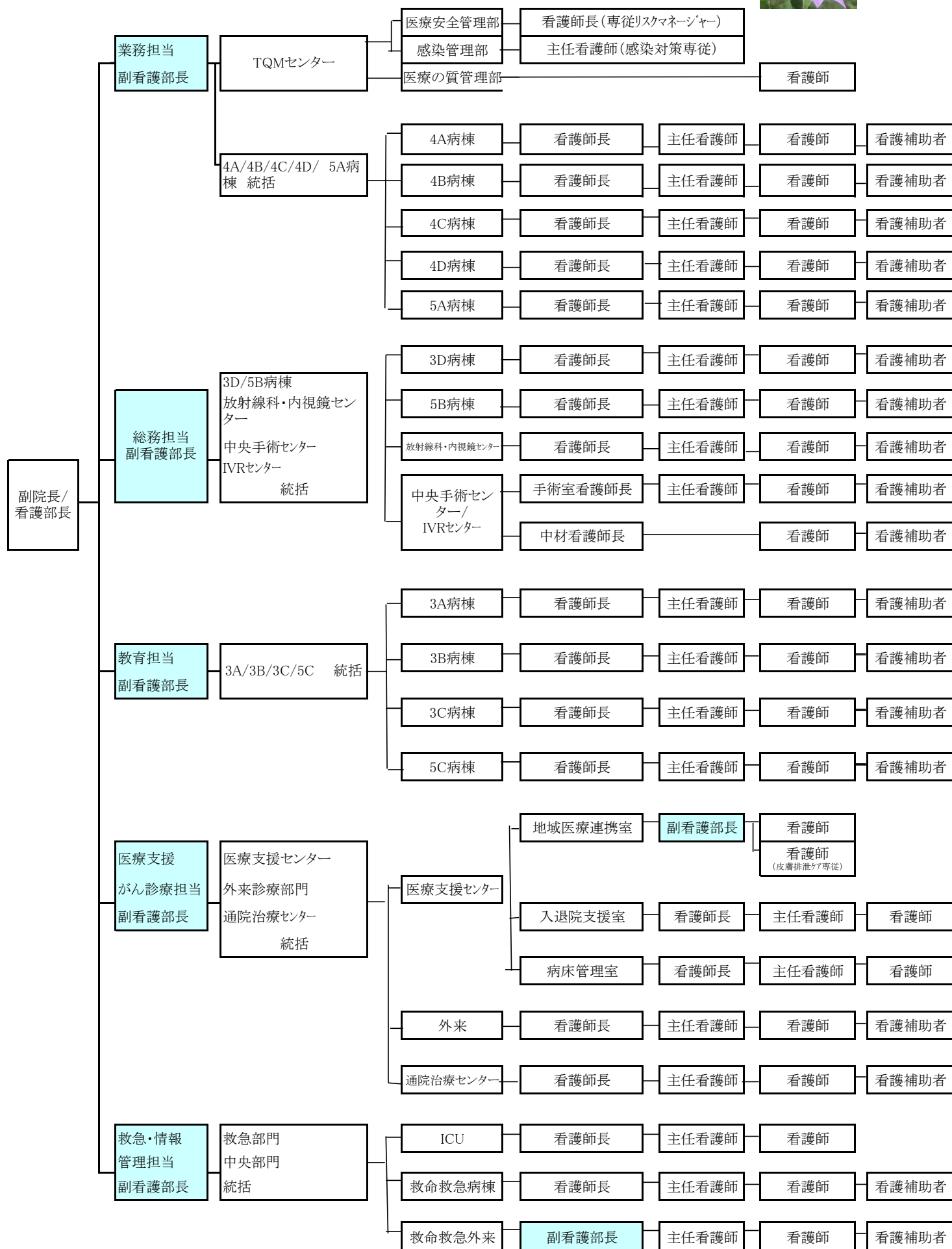
目次

1. 看護部組織	40
2. 看護部理念・目標	41
3. 令和4年度看護部目標	42
4. 看護部BSCと成果	43
5. 看護部教育	
1) 年間教育	50
2) 新人年間教育	52
3) 資格等（看護協会、学会認定等、院内資格）	53
6. 看護活動	
1) 認定看護師活動	54
2) 学会・誌上発表	56
3) 学会・研修会参加	57
4) 教育活動	58
5) 社会貢献	60
7. 臨地実習受入校	61

1. 広島市立北部医療センター安佐市民病院看護部 組織



2022



2.看護部の理念、基本方針及び教育理念

看護部理念

豊かな感性で、ひとり一人を支え、温かい心で思いに寄り添う看護を提供する。

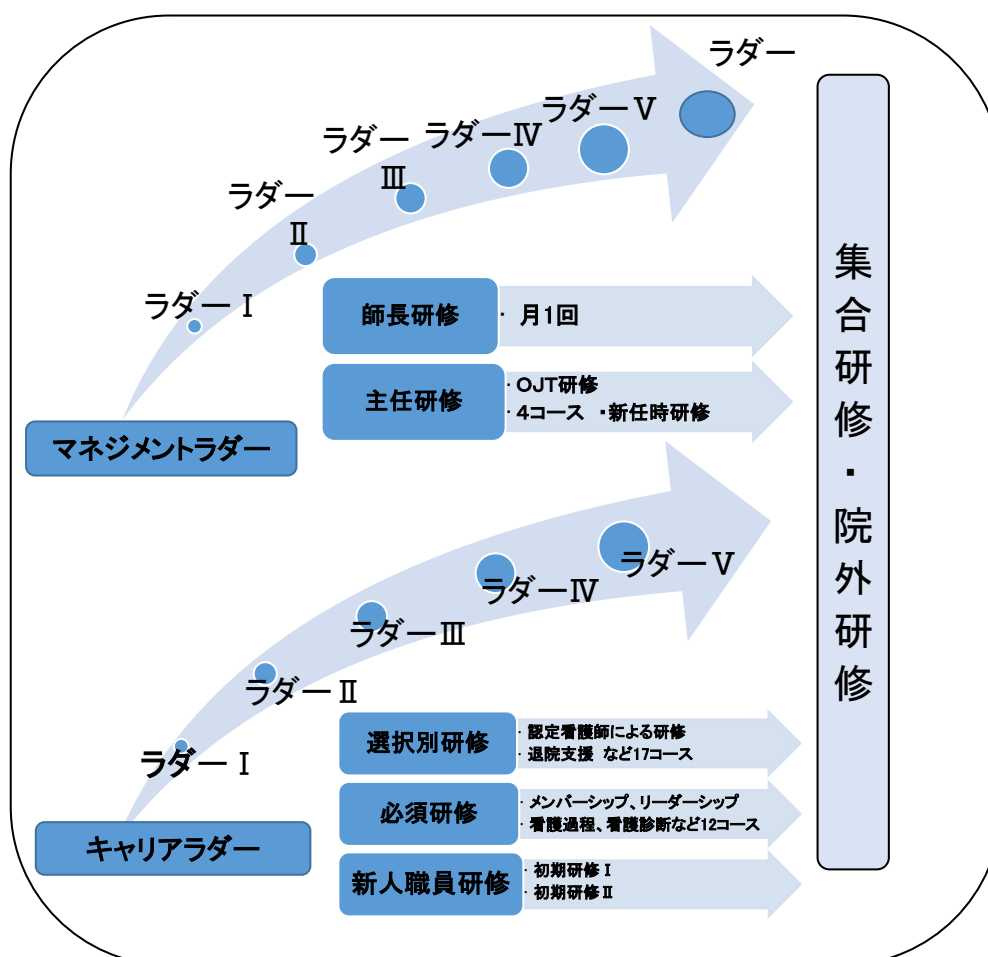
看護部基本方針

1. 看護専門職として、看護の本質を追求し、看護実践能力を高め安全で安心な看護を提供します。
2. 「その人らしさ」を大切にし、患者さんの思いに寄り添った看護を提供します。
3. 連携することを大切にして、看護の専門性を発揮しチーム医療を推進いたします。
4. 専門職業人としての義務と自覚を持ち、知識・技術を高め、豊かな人間性と高い倫理観を持つ自己教育力の高い専門職を育成します。
5. 保健・医療・福祉との連携を図り、「生活」と医療をつなぐ地域医療に貢献します。
6. 看護専門職として主体的に経営に参画いたします。

看護部教育理念

1. 高度救急医療、がん診療拠点、地域の基幹病院として、高度急性期医療に対応した質の高いケアが提供できる看護者を育成する。
2. その人の思いに寄り添い、生活の質を高めて柔軟に対応できる看護師を育成する。
2. 高い倫理観と自己教育力を有した自律性の高い人材を育成する。

看護部教育体系



3. 令和4年度 看護部目標

『変化に適応し、成長につなげる看護部組織』

北部医療センター安佐市民病院は、地域の高度救命救急センターを備え、高度急性期病院としての機能強化を図ると共に、地域と連携し地域包括ケアシステムを推進することが求められます。高度急性期の患者の看護を行うとともに、その後の「生活の質」も見据えて地域につなげていくことが必要です。そのため、看護は「生活者としての患者」を「治療」と「生活」の側面から支援を行うことが重要です。

「保健医療 2040」では、「誰もがより長く元気に活躍できる社会を目指して～健康寿命のさらなる延伸～」と提言されています。医療福祉制度の転換期の最中、様々な技術革新が新たな医療を実現し、社会が成長する組織として「健康寿命」の考え方も変化しています。

また、With コロナに適応しながら、持続可能な看護体制を構築していくことも必要です。

北部医療センター安佐市民病院看護部は、これらの背景を踏まえた取り組みを始動します。

具体的には、

- ①新たな病棟再編に対する看護提供体制の構築
病棟機能に適応し、安全で質の高い看護ケアが提供できる体制
- ②入退院支援体制の構築
PFMの強化 適切な入院期間の中で、必要な患者ケアが提供できる
- ③外来看護体制
複数の疾患を有する患者の療養支援ができる

変化していかなければならない組織の未来を実現することに、私たちの使命と誇りを持って、みんなでチカラを合わせて取り組みましょう。

4. 看護部 BSC と成果

看護部の理念:「豊かな感性で、ひとり一人を支え、温かい心で思いに寄り添う看護を提供する。

広島市立北部医療センター安佐市民病院 看護部

1. 看護専門職として、看護の本質を追求し 看護実践能力を高め安全で安心な看護を提供します。

2. 「その人らしさ」を大切に、患者さんの思いに寄り添った看護を提供します。

3. 連携することを大切にして、看護の専門性を発揮しチーム医療を推進いたします。

4. 専門職業人としての義務と自覚を持ち、知識・技術を高め、豊かな人間性と高い倫理観を持つ自己教育力の高い専門職を育成します。

5. 保健・医療・福祉との連携を図り、「生活」と「医療」をつなぐ地域医療に貢献します。

6. 看護専門職として主体的に経営に参画いたします。

2022 年度 看護部目標:『変化と成長～成長につなげる看護部組織』

①新たな病棟再編に対する看護提供体制の構築:病棟機能に適応し、安全で質の高い看護ケアが提供できる体制

②入院退院支援体制の構築*PFMの強化 適切な入院期間の中で、必要な患者ケアが提供できる

③外来看護体制の基礎づくり:複数の疾患を有する患者の療養支援ができる

I : 看護部重点戦略目標

No	目標	戦略目標	看護部重点取組	評価指標	前年度(2021年度)数値 (新規指標「新設」と記載)	目標値	主管	3月末評価
1	新たな病棟再編に 対する看護提供体 制の構築	1) 責任と質 の高い継続看 護の提供	①看護の専門性の向上	①キャリアラダー受養者数	Ⅱ53人、Ⅲ:41人、Ⅳ:10人	前年増	教育	Ⅱ43人、Ⅲ:27人、Ⅳ:3人
			②日々ラダーの育成	①ラダーⅡ認定者数	53人	前年増		43人
			③チームリーダーの育成	①ラダーⅢ認定者数	41人	前年増		27人
			④固定チームナursingの円滑な運営	①固定チームナursing評価指標	役割業務評価 8月:3.2 1月:3.5	前年増	看護提供体制 プロジェクト (業務)	役割業務評価 8月:3.5 1月:3.6
			⑤退院支援等、チームカンファレンスの促進	①多職種カンファレンス	8767件	新設	各部署	16,581件
			⑥ICの同席	①同席件数	各部署実績	前年増	各部署	各部署実績
			⑦看護診断の適正評価	①各部署使用上位1のNOC改善率	1.6	前年度よりアップ	記録	1.65
		2) 病棟再編 に係るコミュニ アルの運用と 評価	①病棟再編に伴う看護提供体制の整備	①看護提供体制の運用と評価 ②病棟マニュアルの運用と評価 ③病棟諸室運用マニュアルの運用と評価 ④看護手順基準の運用と評価	新設	①～④完成	看護提供体制ブ ロニングク 副看護部長	①～④運営評価を実施し一部修正
			①身体抑制予防のアルゴリズムの定着	①身体抑制監査の妥当性 ②身体抑制中のIA件数 ③デンプレートと実人数の一致 ④身体拘束患者の割合	①開始日89%、 1週間後87%、 解除日89% ②138件 ③93% ④6.05%	①前年度増 ②前年度減 ③100% ④前年度減	安全	①開始日89%、1週間後87%、 解除日89% ②77件 ③97% ④5.55%
			3) 安全・安心な看護の提供					

			②服薬管理の確立	①患者間連携のIA件数 ②内服看護師管理IA件数	①7件 ②217件	①0.10件 ②前年度より減少	①7件 ②212件	
			③適切な療養環境の整備	①転倒転落発生率（レベル3以上） ②骨折発生率 ③大腿骨骨折発生率 ④転倒転落IA3D以上	①0.40‰ ②0.12‰ ③0‰ ④12件	①0.22‰ ②前年度減 ③0‰ ④前年度より減少	①0.09‰ ②0.03‰ ③0‰ ④8件	
		4) 効果的・効率的な運用による業務改善	①業務負担軽減	①時間外時間 ②年休取得	①平均：6.0時間/人 ②平均：10.1日/人	①前年比同 ②前年を下回らない 各人5日/年以上	①平均：9.37時間/人 ②平均：11.7日/人	
		1) 入院前からの退院支援を促進	①外来カンファレンスの促進	①入院前カンファレンス件数 ②病棟退院支援カンファレンス参加件数	①22件 ②新設	前年度増	①58件 ②16,581件	病床プロジェクト
			②入院退院支援の介入	退院支援率	45%	前年度増	48%	
			①DPCⅡ起えの減	DPCⅡ越え率	21.8%	18%以下	18.2%	病床プロジェクト バス
		2) 適正な入院期間の調整	②適正なバスの運用	①入院時間、入院日数の短縮、診療密度の上昇の3視点でのバーチャルミーティング	①17件	①17件以上	①22件 新規：7件	
			③バス適応率の向上	①ドロップアウト率	新設	削減	①4.8%	バス 病床 プロジェクト
			①病床稼働率の向上	①病床稼働率 ②平均在院日数 ③新規入院患者数 (予定入院：6割、緊急入院4割) ③複数診療科（一般病床）	新病院にて目標値は新設	①95% (87.3%) ②9.3日 ③14,801人 ④新設	①91% ②8.0日 ③新規入院患者14,655人 ④14診療科	
			②外来・入院単価の維持・向上	外来単価 入院単価	新設	外来単価29,575円 入院単価83,320円 (87,000円)	外来単価29,703円 入院単価95,149円	
		3) 効果的・効率的な病床運用	③PFMの確立	PFM実施・評価	新設	新設 ①緊急入院のⅡ期越え率 ②予定入院のⅡ期越え率	①23% ②13.2%	病床 プロジェクト 情報必要度
			④看護必要度と病床機能の選択	①一般病床、看護必要度 必要度Ⅱ：28%以上 ②B項目の適切な評価 (母数：B項目毎に算出)	①必要度Ⅱ：45.6% ②患者状態との整合性：95%	①必要度Ⅱ：28%以上 ②患者状態との整合性：90%以上	①必要度Ⅱ：43.2% ②患者状態との整合性：95.5%	

3	外来看護体制	1) 外来看護 のあり方を統 一・浸透	①外来看護基準・手順の見直し	外来看護基準・手順の見直し	1回/2年実施	100%	外来看護提供体 制プロジェクト	1回/2年実施
			②継続看護の強化	①入院前カンファレンス件数 ②病棟退院支援カンファレンス件 数 ③各診療科カンファレンス件数	①32件 ②新設 ③新設	前年度贈		①58件 ②16,581件 ③1639件
			③外来看護師の実践能力向 上	コンピテンシー習熟度評価	5月64%⇒2月82%	1回/2年実施		92%
			①薬物療法患者の適切な診 療体制 ②治療中・地露湯後の患者 の地域連携 ③緩和ケア体制推進（在宅 緩和ケアネットワーク） ④緩和ケア病棟との連携体 制構築 ⑤ゲノム医療の取組	①診療体制の構築 ②地域連携の推進 ③在宅緩和ネットワークの構築 ④連携体制の構築 ⑤地域からの紹介システム構築	新設	新設		検討段階で終了した。
4	特定行為指定研 修機関	特定行為指定 研修機関の認 可と開設準備	①特定行為研修の申請 ②研修施設の運用等要綱の 策定 ③広報・募集要項の作成と 実施 ④研修受講者決定 ⑤R5年開設	①R5年開設	新設	新設	教育担当	①院内受講者1名決定 ②R5年開講

2022年度 看護部目標管理指標

* 部署別／全体のデータ抽出

* 部署別／全体のデータ抽出							
項目	データ		管理部門	抽出期間	2月末		
					中間評価	最終評価	前年
病床管理	1	病床利用率	看護部長室	1ヶ月	87.7%	91.0%	82%(稼働率74.5%)
	2	平均在院日数			8.1	8.1	7.0日(全体9.1)
	3	病床回転率				5.36/月	2.84/月
	4	新入院患者数			1251.6人/月	1265.9人/月	1163.5人/月
	5	退院患者数			1195.4人/月	1239.4人/月	1163人/月
	6	転入患者数			562人/月	562.3人/月	343.1人/月
	7	転棟患者数			554.2人/月	558.4人/月	343.1人/月
	8	患者死亡数			23.8人/月	31.7人/月	26.5人/月
	9	延べ付添数			143.2人/月	162.1人/月	159.6人/月
	10	看護必要度			43.0%	43.2%	46.0%
	11	病棟別診療科入院状況(複数科の入院状況)			14.1	16.7	14.3診療科
業務管理	12	看護師夜勤時間(月平均)		1ヶ月	67時間	63.8時間	63.9時間
	13	年休取得状況(看護部職種別)				11.7日/1人	10.1日/1人
	14	看護部時間外勤務時間(正職のみ)			9.2時間/月	9.37時間/月	6.5時間/月
	15	看護補助者業務時間数(16の時間含む)			16394.9時間/月	16326.6時間/月	14531.8時間/月
	16	育児短時間取得者		半期	64人	68人	67人
	17	病休休職者数(人数)			2人	4人	2人
	18	退職率/退職者数(正規職員) 定年含まず				8.1%(定年含まず)	7.0%(定年含まず)
	看護の質	19			社会活動(学会座長、委員、講師など)	年間	
20		看護部学会・研究会発表件数			22件		10件
21		看護研究誌上発表件数			7件(雑誌6件)		2件
22		学会・研修会参加回数			123回		83回
23		認定看護師数		16人+特定行為6人	17人+特定行為6人		
24		各種資格取得者数(看護協会、学会認定等)		ファースト5人	ファースト8人		
25		学生受け入れ数		341人	0		
26		チーム数		19チーム	19チーム		
安全管理	27	IA報告件数	安全管理室	半期	1556	1320	2757件
	28	内服患者間違い件数			2	2	7件
	29	医療事故報告件数			7	11	37件
	30	(看護部関連)皆さまの声報告件数			24	10	49件(良い報告27件)
	31	身体拘束件数(実人数)	皮膚排泄ケア	年間		658人	724人
	32	年間褥瘡推定発生率		半期		0.42%	0.50%
	33	CLABSI発生率/使用比(中心静脈)		半期	0.00/0.40	0.00/0.35	0.00/0.34
	34	VAP発生率/使用比(呼吸器)			0.00/0.29	0.00/0.30	0.00/0.38
	35	針刺し事故件数(2013／2014)			12	16	29

【2022各委員会指標】

*委員会「看護の質」評価として必ずデータを扱うもの
(毎年、評価すべき指標)

(毎年、評価すべき指標)		該当するもののみ記載				2月		
項目	データ	データ管理部門	データ抽出期間	目標値	中間評価	最終評価	前年	
看護の質	1 業務量調査	業務検討委員会	年間	100%				
	2 ナーシングスキルテスト		年間(2回/年)	全員100点		100%	100%	
	3 看護手順・看護実践マニュアル見直し修正率		年間	100%		100%	100%	
	4 専門性の高い看護ケア(ICU・カンパレンス・患者指導)		年間(1日間/11月)	前年度よりUP	ICU:0.1%増加、カンパレンス0.6%増加、患者指導0.1%増加			
	5 固定チームナーシング定着状況		1月	3.0以上		3.6	3.5	
看護の質	1 必要度評価:A・B得点	情報委員会	2回/年	前年度よりUP	6月監査 A項目整合率98.9% (ICU、救命病棟のみ) B項目整合率95.0%	11月監査 A項目整合率98.9% (ICU救命病棟のみ) B項目整合率96.8%	1月監査 A項目整合率99.0% B項目整合率95.5%	
	2 必要度レポート整合性(前期のみ)			前年度よりUP				
	3 基準超え一致率			前年度よりUP				
	4 必要度研修:指導者合格者(実施された場合)		1回/年	指導者実施の研修 全員受講		8/9名合格		
	5 一般対象 2回/年評価者受講数			前年度よりUP		全員済み		
	6 集合研修不参加者研修(各部署) 参加人数		年間	未受講者0		未受講者0		
	7 ナーシングスキル テスト必要度テスト①②③満点合格者		年間	全員満点		ナーシングスキル必要度テスト①②③全員満点	ナーシングスキル必要度テスト①②③全員満点	
	8 ナーシングスキル チェックリスト活用数			全員チェック		チェックリスト全員実施	チェックリスト全員実施	
看護の質	1 記録監査(委員会監査)形式的監査	記録委員会	半期	90%以上	79.5%	86%	90.0%	
	2 記録監査(病棟監査)質的監査		半期	3.3以上	3.6	3.7	3.6	
安全管理	3 看護診断数(立案件数)	安全対策委員会	半期(6月・12月)	10000件以上	3862	11692	12093	
	4 NOC改善点数(各部署使用上位1診断)		半期(6月・12月)	1.5以上	1.7	1.65	1.58	
	1 身体抑制月平均実人数(月別)		月別	前年度減	76人	73人	64人	
	2 身体抑制実人数		年間	前年度減	228人	658人	704人	
	3 身体抑制監査の妥当性		半期	前年度よりUP	95%	92%	89%	
				前年度よりUP	84%	90%	88%	
				前年度よりUP	92%	91%	89%	
	4 身体抑制テンプレートと実人数の一致率		半期	100%	97%	97%	93%	
	5 身体抑制中のIA件数		半期	前年度減	33件	77件	138件	
	6 身体的拘束割合(DINQL)		1回/年	4.07%(25パーセントイル) (DINQLベンチマーク急性期一般入院基本科入院料1)*		5.55%	6.05%	
	7 身体的拘束延べ患者日数割合(DINQL)			4.37%(25パーセントイル)*		5.49%	6.85%	
	8 転倒転落発生率(全レベル:DINQL)			3.21%(75パーセントイル)*		3.08%	3.06%	
	9 転倒転落発生率(レベル2以上:DINQL)			0.52%(25パーセントイル)*		0.68%	1.26%	
	10 転倒転落発生率(レベル3以上:DINQL)			0.00%(25パーセントイル)*		0.09%	0.34%	
	11 転倒転落予防による骨折発生率(DINQL)			0.0%(25パーセントイル)*		0.03%	0.12%	
	12 大腿骨骨折発生率(DINQL)			0.0%(25パーセントイル)*		0.0%	0.0%	
	13 転倒・転落IA3b以上		半期	前年度減		8件	12件	
	14 誤薬発生件数		年間	前年度減		487件	459件	
	15 誤薬発生率(全レベル:DINQL)		1回/年	4.03%(75パーセントイル)*		4.68%	3.63%	
	16 誤薬発生率(レベル2:DINQL)			1.37%(75パーセントイル)*		3.07%	3.10%	
17 誤薬発生率(レベル3:DINQL)	0.00%(25パーセントイル)*			0.07%	0.12%			
18 内服患者間違いのIA(レベル1〜5)	年間	前年度より低下		7件	7件			
看護の質	1 キャリアラダー受検数	ラダー運営委員会	年間	申請者全てが受検	申請者数Ⅰ:49名Ⅱ:44名Ⅲ:31名Ⅳ:4名 受検者数Ⅰ:47名Ⅱ:43名Ⅲ:27名Ⅳ:3名	申請者数Ⅰ:27名Ⅱ:57名Ⅲ:42名Ⅳ:11名 受検者数Ⅰ:27名Ⅱ:53名Ⅲ:41名Ⅳ:10名		
	2 キャリアラダー認定数			申請者100%	Ⅰ:46名Ⅱ:43名Ⅲ:27名Ⅳ:3名 93.8%	Ⅰ:27名Ⅱ:53名Ⅲ:41名Ⅳ:10名		
	3 キャリアラダー認定率			前年度よりUP	Ⅰ:97.9%Ⅱ:100%Ⅲ:100%Ⅳ:100%	Ⅰ:100%Ⅱ:100%Ⅲ:100%Ⅳ:100%		
	4 マネージメントラダー受検数		年間	前年度よりUP	Ⅰ:16名Ⅱ:2名Ⅲ:5名Ⅳ:1名 計24名	Ⅰ:5名Ⅱ:3名Ⅲ:4名Ⅳ:2名 計14名		
	5 マネージメントラダー認定数			申請者100%	Ⅰ:16名Ⅱ:2名Ⅲ:5名Ⅳ:1名 計24名	Ⅰ:5名Ⅱ:3名Ⅲ:4名Ⅳ:2名		
	6 マネージメントラダー認定率			100%	100%	100%		
	7 主任管理研修参加率		前年度よりUP	66名 66.7%	63名 61.8%			
	8 1stステップ受検者		新任主任以外 対象者12名	5名	1			
	9 2ndステップ受検者		※対象者73名		1名	1		
看護の質	1 新規バス件数	クロスリ員会バ	年間	10件		7	4	
	2 バージョンアップバス件数			15件		22	8	
	3 バリアンス(正・負)発生率			30%		17.2%	18.5%	
	4 ドロップアウト率			10%		4.8%	4.7%	
	5 バス利用率			52.00%		51.4%	51.5%	
看護の質	1 入退院支援加算Ⅰ件数	退院委員会支援	年間	2000件		3859件	3345件	
	2 入院時支援加算件数			1000件		1237件	1060件	
	3 退院後訪問指導料件数			15件		4件	16件	
看護の質	1 接遇基本チェック平均点数	会員委連携	2回/年(6月・1月)	全年度よりUP		8.1	8.22	
看護の質	1 キャリアラダー別研修 自己評価(Ⅰ〜Ⅴの平均)	教育委員会	年間	3.0以上		集計でき次第記載予定	3.5	
	2 キャリアラダー別研修参加数			総数80人以上		必須研修227名 専門別研修360名 計587名	必須研修301名専門別研修348名 計649名	
	3		・研修の構成(2) *リッカート評価4.3の割合	1回/年	80%以上		99.6%	94%
	・目標達成率(6) *リッカート評価4.3の割合		1回/年	80%以上		99.4%	93.0%	
	4 集合研修参加人数(実践報告会含む平均)		1回/年	80人以上(院内)		実践報告会119名参加	今年度は実施しなかった 実践報告会は動画視聴で行った	
看護の質	5 集合研修内容評価(アンケート)		1回/年	とても良かった・よかったです80%以上		実践報告会アンケート90%	集合研修を実施しなかった	

【2022各チーム等指標】

*各チームで「看護の質」評価として必ずデータを扱うもの
(毎年、評価すべき指標)

		2月末				
チーム	データ	データ管理部門	データ抽出期間	目標値	最終評価	前年度
感染対策	1 手指消毒薬使用量(目標使用量の達成度)	感染対策室	年間	40%	39.71%	33.10%
	2 MRSA新検出数			90	77	74
	3 針刺し・切創件数			30	16	29
	4 CLABSI発生率/使用比(中心静脈)		半期	1.1/0.48	0.00/0.35	0.00/0.34
	5 VAP発生率/使用比(呼吸器)			2.1/0.33	0.00/0.30	0.00/0.38
R S T	1 呼吸ケアチーム介入患者数		年間	5以上	2	1
	2 ラウンド件数			5以上	2	1
	3 呼吸ケアチーム加算件数			2以上	0	0
	4 呼吸ケアチーム介入患者の人工呼吸器装着日数			70日以下	13.25	呼吸器装着中
	5 呼吸ケアチーム介入患者の総入院日			120日以下	84.25	入院中
	6 呼吸ケアチーム介入患者の離脱率			100%	100%	入院中
	7 呼吸ケアチーム介入患者の人工呼吸器再装着率			0%	0%	装着中
	8 気管切開患者ラウンド件数			70件以上	6	190
	9 気管切開患者の気管切開に関するIA件数			10件以下	67	5
	10 デスカンファレンス件数					
緩和ケア	1 チーム介入依頼新規患者数	緩和ケアチーム	年間	前年度程度	75	83.0
	2 チームラウンド件数			前年度程度	380	487.0
	3 チームカンファレンス件数			45	27	38.0
	4 がん患者指導管理料(1)件数			350	209	384.0
	5 がん患者指導管理料(2)件数			350	518	555.0
	6 がん性疼痛緩和指導管理料(麻薬処方との比)			30%以上	34%	15%
	7 苦痛のスクリーニング未対応率			30%以下	18	21
	8 地域連携バス件数			7	0	0
	9 外来での患者情報シート活用件数			40	138	219
	10 デスカンファレンス件数			20	11	13
腫瘍外来	1 リンパ浮腫指導管理料	リンパ浮腫外来 (医療リハビリテーションセラピスト)	年間	前年度程度	227	157(1月末まで)
	2 リンパ浮腫外来のべ件数		年間	前年度程度	84	86
がん化学療法	1 がん化学療法に関するIA報告件数	がん化学療法CN	年間	34件以下	26	16
	2 ポート感染発生件数			0	0	0
	3 IVナースレベルⅣA認定者数			15名以上	7	29
	4 キャンサーボード検討件数			100件以上	9	16
	5 血管外漏出件数			4件以下	13	6
	6 外来化学療法中の非血液毒性grade3の件数			0	0	0
災害対策	1 院内災害訓練回数	庶務	年間	前年度増	1	0
	2 DMAT災害訓練・研修参加回数			前年度増	1	1
	3 災害支援ナース研修者数(看護部長室調べ)			前年度増	4	1
トリアージ	1 アンダートリージ率	中処置	月別/年間	前年度改善	0.09%	0.5%
	2 トリアージナース認定者数(認定者数とする)		年間	前年度増	8	3
	3 トリアージ苦情件数		月別/年間	前年度減	0	0
褥瘡対策	1 褥瘡推定発生率	褥瘡対策	3ヶ月	0.6%以下	0.42	0.50%
	2 褥瘡有病率		6ヶ月	1.1%以下	1.39	0.5
	3 褥瘡治癒率		年間	35%以上	46	50
摂食・嚥下チーム	1 嚥下チームラウンド件数	摂食・嚥下チーム	半期	前年度増	26	17件
	2 摂食機能療法件数			前年度増	2821	3992件
心不全	1 院内退院支援カンファレンス実施件数	心不全チーム	半期	前年度増	計408	530件
	2 終末期カンファレンス件数			前年度増	0	7件
	3 個別患者教育指導件数			前年度増	計54件	54件
	4 ADL維持向上体制加算人数			前年度増	1424人/5528件(1月末)	
	5 心臓病教室参加人数			前年度増	開催なし	開催なし
	6 退院支援加算件数			前年度増	計356件	292件
	7 個別面接 外来(継続)・退院後			前年度増	132	136
心不全看護外来	2 入院病床訪問	認定看護師 (心不全)	1年	100件以上	82	137
	3 電話訪問			前年度増	78	93
	4 せん妄ケア加算(2020年新設)			2000件以上	9261(1月末)	9084(1月末)
高齢者総合支援チーム	2 認知症ケア加算件数	高齢者総合支援チーム	6ヶ月	前年度増	470(1月末)	526(1月末)
	3 介入依頼件数			前年度増	1127	1039
	4 認知症ラウンド件数			前年度増	1185	1353
	5 認知症・せん妄対策カンファレンス件数			前年度増	59	36
	6 認知症・せん妄対策カンファレンス件数			前年度増	2876	2757件
医療安全対策チーム	1 IA報告件数	医療安全対策室	半期	前年度増	18	37件
	2 医療事故報告件数			前年度減	12	32件
	3 事故分析件数			前年度減	34	49件良い報告27件(1月末)
	4 (看護部関連)皆さの声報告件数			良い件数の増	93	55件(1月末)
	5 苦情報告件数			前年度減		
糖尿病チーム	1 糖尿病透析予防指導管理料算定件数	糖尿病チーム	1ヶ月	前年度減	コスト6件/実績6件	3
	2 糖尿病地域連携バス使用患者数			前年度減	20	7.0
	3 院内勉強会参加人数			50名/1回ののみ	0	0
	4 糖尿病関連IA件数			前年度減	206	169件
	5 糖尿病教室参加人数		1年	100名以上	0	0
	6 糖尿病チームコンサル件数			25件以上	137件	55件
	7 フットケア件数			前年度減	コスト38/実績96件	37件
	8 療養指導件数			1ヶ月	前年度減	コスト270件/実績987件
ASA肝臓チーム	1 肝臓病教室参加人数	肝臓病チーム	2ヶ月	前年度増	コスト172件/実績592件	
	2 肝臓病教室参加患者満足度		2ヶ月	前年度改善		
	3 B・C型肝炎ウイルスキャリア者受診率		1年	前年度改善	43.75%	49.30%
	4 針刺し事故感染者フォロー率		1年	前年度改善	1名 100%	4名 75%
	5 医療者への院内勉強会実施件数			前年度増		
	6 医療者への院内勉強会参加人数			前年度増		
助産外来	1 延べ助産外来実施件数(4月～3月)	産婦人科外来	6ヶ月	実施件数/ 全分娩件数/	助産外来212件 分娩件数391件	助産外来222件 分娩件数408件
物忘れ外来	1 延べ外来件数(4月～2月)	もの忘れ外来(神内)	1年	前年度増	220件	
排尿ケアチーム	1 介入患者数	排尿ケアチーム	1年	前年度増	150	140
	2 排尿自立指導料加算回数			250回以上	208	179
	3 排尿自立度の改善人数			80%以上	84%	81%
早期リハチーム	1 入室患者の介入患者割合	早期リハチーム	1年	30%以上	240名 30.3%	187名 26.9%
周手術チーム	1 介入件数	周手術管理チーム	1年	前年度増	1859件	1281
	2 介入患者の術前検査漏れ件数			0件	0件	0件

【看護外来等件数推移】

* データは、2月末時点でカウント

		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
心不全看護外来	慢性心不全認定Ns	106	286	253	177	134	106	136	132
助産外来	N3、産婦人科外来	89	80	76	102	208	189	222	212
もの忘れ外来	認知症ケア認定Ns	705	752	775	701	648	446	515	80
ストーマ外来	WOC認定Ns	370		593	618	573	339	340	359
リンパ浮腫外来	癌性疼痛認定Ns	3	22	117	54	87	61	86	84
療養相談	DM認定Ns					480	538	592	987
フットケア						71	30	37	96
透析予防						23	9	3	6

特定行為(山崎)	延べ回数				100	83	71	140	95
	対象者数				14	27	21	27	33
特定行為(小林)	延べ回数					36	69	72	92
	対象者数					29		58	76
特定行為(杉本)	延べ回数					2	0	0	0
	対象者数					2	0	0	0

特定行為(神田)	延べ回数	9	0
	対象者数	9	0
特定行為(長見)	延べ回数	15	62
	対象者数	15	55
特定行為(斉藤)	延べ回数	0	4
	対象者数	0	2

2022年度
教育計画

広島市立北部医療センター安佐市民病院 看護部 2022.5.25

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベルⅠ	新人管理職養成研修	集合研修: 導入研修Ⅰ 初階研修Ⅰ	集合研修: 導入研修Ⅱ 初階研修Ⅱ	集合研修(6/2(土)) (8:30～17:15)	集合研修(7/1) (13:00～18:45)		集合研修(9/29) (13:30～18:45)	集合研修(10/21) (13:30～18:45)	集合研修(11/11) (13:00～18:45)	集合研修(12/2) (13:00～18:45)	レベル1:1年(の初年度) (1/20) (14:00～15:30)	ウミレーンズの研修(9/10(2/17) (10:1000～1200 20:1400～1600)	3月
レベルⅡ 14:30～16:00	必須研修	■フリオクター研 修(各部署にて)	☆看護と倫理 動画視聴 視聴期間(5月～7月)	☆メンバートップ研修1回目 動画視聴(6月～7月) ■看護倫理研修1 (10/6/19 20/6/14 30/6/24)			■メンバートップ研修2回 目 6/9/29 2/10/3 30/10/20)					■講義・グループワーク2回目 (12/3)	
	認知症看護				☆講義1回目 動画視聴 (7月～8月)								
	がん看護				☆講義 動画視聴(7月～8月)					☆講義2回目(12/19)			
	入退院支援												
	救急看護												
レベルⅢ 14:30～16:00	必須研修			★リーダートップ研修1回目 動画視聴(6月～7月) ■看護倫理1回目 (10/6/20 20/6/13)			■リーダートップ研修 2回目(10/9/27 2/10/6 30/10/4)	■看護倫理 2回目 (10/10/11 2/10/24)			■2回目講義・ロールプレ イング(10/1/13 20/1/19)		
	がん看護		★フレカン研修 動画視聴(5月～ 6/20)	☆研究のプロジェクト :動画視聴 視聴期間(6月～7 月) ■フレカン研修 4:30～15: 30 (10/6/28 20/6/29 30/7/6)									
	がん看護		■1回目OJT(6月～9月)				■2回目 講義・演習2回目 (10/7/2)			■講義・事例検討 2回目(12/1)			
	がん化学療法		■講義1回目(6/30)									■2回行事別発表グループワーク (10/2/1 20/2/15)	
	入退院支援							☆1回目 動画視聴(9月～10 月)				■講義・演習2回目(2/16)	
レベルⅣ 14:30～16:00	救急看護						■講義・演習1回目(10/19)						
	産産婦科看護						■講義1回目(10/7)	■講義・演習2回目(11/9)		■講義・演習3回目(12/5)			
	認知症看護							■講義1回目 (11/4)	■講義1回目 (11/14)		■講義2回目 (11/20)		
	感染管理										■講義・グループワーク 2回目(1/16)		
	慢性疾患看護						☆1回目動画視聴 視聴期間(9月～11月)			■講義・演習2回目 (12/13)			
レベルⅤ 14:30～16:00	院長室下研修者 履修						☆1回目動画視聴 視聴期間(9月～11月)			■講義・演習2回目 (12/15)			
	必須研修			■研究における統計学の基礎 1回目(6/16) ※またたは統計学入門 (7/17 10/17 12/17 14/17 16/17) ☆問題解決技法の基礎 1回目(6月～8月) 動画視聴					■研究における統計学の 基礎2回目(12/23)	■研究における統計学の 基礎2回目(12/23)			
	がん看護			☆目標管理研修 1回目 動画視聴(6月～7月)					■目標管理研修 2回目 (11/17)				
	入退院支援			☆講義1回目 動画視聴 (6月～8月)					■事例検討2回目 (11/18)				
	産産婦科看護			■講義1回目(6/27)				☆1回目 動画視聴(9月～10 月)		■講義・演習2回目 (12/7)	■講義・グループワーク2 回目 (1/11)		
レベルⅥ	院外研修												

①個人で選択した出張研修:管理研修(問題解決・倫理・人材育成など)

2023

3)資格等

2022年度3月末現在

資格	人数	備考
ファースト修了者	81	看護協会
セカンド修了者	8	看護協会
サード修了者	2	看護協会
認定看護師	16	看護協会
特定行為研修	6	看護協会
リスクマネージャー資格	4	病院協会・看護協会
糖尿病療法士	7	学会認定
NST	27	学会認定
呼吸療法士	12	学会認定
臓器移植コーディネーター	3	大学エクステンション
肝臓病コーディネーター	6	広島県
特任肝疾患コーディネーター	2	広島県
Dマット隊員	4	広島県
災害支援ナース	8	看護協会
臨床輸血看護師	2	学会認定
新生児蘇生法コース	18	学会認定
助産師ラダーⅢ	5	看護協会
看護教員資格者	3	看護教員養成講習会
実習指導者講習会修了者	12	看護協会

【院内資格】

キャリアラダー

	認定者数
キャリアラダーⅠ	101
キャリアラダーⅡ	164
キャリアラダーⅢ	89
キャリアラダーⅣ	11

マネジメントラダー

	認定者数
マネジメントラダーⅠ	52
マネジメントラダーⅡ	19
マネジメントラダーⅢ	12
マネジメントラダーⅣ	6
マネジメントラダーⅤ	0

Ⅳ(静脈注射)ナース

	延べ人数	備考
レベルⅠ	561	指導の下静脈注射
レベルⅡ	561	化学療法以外、輸血実施可
レベルⅢ	466	ポート針挿入
レベルⅣ A	229	化学療法投与
レベルⅣ B	285	造影剤投与
インストラクターレベルⅢ	75	レベルⅢまでの支援
インストラクターレベルⅣ A	23	レベルⅣ Aの支援

6.看護活動

1)2022年度認定看護師活動

*学会等の発表、講師詳細、座長は別に示す

分野	名前	取得年/職位		主な活動内容	数値
皮膚排泄ケア	神田 光太郎	2010(H22)年 専従看護師 主任看護師 2020年特定行為 研修修了	院内	褥瘡研修:新人研修のための褥瘡リクナース教育 褥瘡回診(皮膚科医・薬剤師・管理栄養士・看護師) ストーマ外来 褥瘡予防・管理カンファレンス	年1回 週1回 開院日 週1回
			院外	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会評議委員 中国・四国ストーマリハビリテーション研究会 幹事 中国ストーマリハビリテーション実行委員 院外講師	
感染管理	森合 真治	2014(H26)年 主任看護師	院内	感染対策項目別ラウンド 感染症ラウンド 環境ラウンド 院内感染対策委員会 看護部感染対策委員会 ICT会議 ICT院内研修(全職員対象) 新入職者研修 看護補助者研修 ラダー研修(感染管理) 院内研修会(COVID-19の対応、VRE) 感染症発生時(結核、多剤耐性菌など)の対応 手指衛生サーベイランス 針刺し切傷、粘膜曝露サーベイランス COVID-19感染対策の指導、教育、発生時の対応、マニュアル作成 病院移転による感染対策、中央材料室に関する協議、書類、マニュアル作成など	ラウンド回数4回/月 ラウンド回数2回/月 ラウンド回数1回/月 1回/月 1回/月 1回/週 2回/年 2回/年 1回/年 2回/年 10回/年 4件/月 通年 通年
			院外	院外講師 感染管理地域連携カンファレンス 感染対策の現地指導 広島市立看護専門学校:感染管理講師 広島感染防止及び滅菌業務研究会委員 地域の医療施設からの感染対策に関する相談対応	2回/年 4回/年 4回/年 1回/年 通年 通年
	斉藤 貴志	2021(R3)年 看護師 2021年特定行為 研修修了	院内	院内感染ラウンド、ICT巡視 感染症・環境ラウンド 院内感染対策委員会 看護部感染対策委員会 ICT会議 ICT院内研修(全職者対象) 新入職者研修、看護補助者研修 院内研修会(COVID-19の対応、VRE) 感染症発生時の対応(結核・多剤耐性菌など) 手術部位感染サーベイランス 中心静脈ライン関連感染症サーベイランス 院内感染対策委員会:4チームのチーム活動 抗菌薬適正使用支援チーム活動 COVID-19感染対策全般の活動	2回/週 2回/週 1回/月 1回/月 1回/週 2回/年 1回/年 年間を通して 年間を通して 年間を通して 年間を通して 12回/年 1回/週 年間を通して
			院外	地域ネットワークWEB会議 院外講師 地域連携加算施設からの相談対応 広島院内感染対策研究会委員	年間を通して 年間を通して 年間を通して 年間を通して
救急看護	長見 由美	2013(H24)年 主任看護師 2020年特定行為 研修修了	院内	看護職に対して心肺蘇生研修:出前講座 看護職に対して二次救命処置のガイドラインについて ビデオを作成し研修 災害対策チームの取り組み 総合診療部トリアージ委員会の取り組み(トリアージナース・救急リーダー育成) RRTの取り組み(部署での急変対応についての症例検討参加) 部署の全看護師挿管介助の研修 Vナース指導者研修 院内研修講師 救急看護コース 新人研修救急看護・防災 研修医ACLS インストラクター	看護師 462名 コメディカル 110名 全看護師啓蒙 救命救急外来全看護師 2回/年 6回/年 各1回/年
			院外	・災害支援ナースフォローアップ研修のインストラクター ・指導者のためのBLSのインストラクター ・ファーストエイド研修のインストラクター 学会参加 北支部心肺蘇生研修講師 ・災害支援ナース育成講師	各1回/年 各2回/年
集中ケア	鈴木美香	2011(H23)年 主任看護師	院内	早期離床チームの取り組み:入室48時間以内のリハビリ介入 人口呼吸器の安全な早期離脱を目指した横断的ラウンド 気管切開患者の安全管理を目指した横断的ラウンド RRTラウンド 院内新人研修・コース別研修担当 他部署研修	30% 2件 190件 73件 7回 4回
			院外	院外研修講師(看護協会)	1回
がん化学療法	小原 由里	2011(H23)年 主任看護師	院内	IVナース育成プログラムにおける研修 がん診療検討委員 がん診療検討委員会 レジメン検討委員会 通院治療センター 運営委員会 各レジメン・薬剤投与マニュアル作成 薬物療法センター マニュアル改定 院内研修講師	4回/年 3回/年 1回/月 6回/年 2回/年
			院外	学会参加 院外講師(広島市立看護専門学校にて)	1回/年 1回/年

緩和ケア	伊藤 美幸	2008(H20)年 主任看護師	院内	がん患者カウンセリング 緩和ケアチーム活動 医師緩和ケア研修会 ラダーがん看護1	がん患者指導管理 12回/年 1回/年 1回/年
			院外	日本緩和医療学会 広島県がんリハビリ研修会	1回/年 1回/年
	矢田 和美	2021(R3)年 看護師長	院内	院内研修講師 退院支援委員会	1回/年 1回/月
			院外	学会参加 院外講師 広島県緩和ケア推進会議委員	1回/年 2回/年 3回/年
	西岡 由香	2012(H24)年 副看護部長	院内	ラダーがん看護講師 緩和ケア委員会 看護連携フォーラム講師 新人教育・看取り期の看護	2回/年 1回/月 1回/年 1回/年
			院外	院外講師	2回/年
がん性疼痛看護	升田 志保	2013(H25)年 主任看護師	院内	がん患者カウンセリング 緩和ケアチームラウンド 緩和ケアチームカンファレンス リンパ浮腫外来 院内研修講師	276件/年 386件/年 27回/年 84件/年 3回/年
			院外	院外講師	1回/年
摂食嚥下障害	杉本 みほ	2010(H22)年 主任看護師 2019年特定行為 研修修了	院内	嚥下チーム回診 RRTラウンド ラダーⅢ専門別研修 摂食嚥下障害看護コース 新人研修 (摂食嚥下障害看護 口腔ケア) NSエイド研修会(食事介助) 誤嚥窒息防止プロトコル ブラッシュアップ 全国自治体病院学会 共同演者 当院における緊急入院患者への嚥下機能評価体制	週1回 随時 年2回 年1回 年1回
			院外	日本医療マネジメント学会 共同演者 当院における緊急入院患者への嚥下機能評価体制 藝州北部多職種WEBカンファレンス	月1回
慢性心不全看護	小林 志津江	2013(H25)年 主任看護師 2019年特定行為 研修修了	院内	心不全看護外来 入院患者病床訪問 心不全緩和ケアチームカンファレンス RRTラウンド 院内コース別・新人看護師研修講師 院内研修講師 心不全看護認定教育課程実習指導 特定行為	外来面接123件/年 電話79件/年 79件/年 1件/年 73件/年 8回/年 8回/年
			院外	院外研修講師 心不全看護認定看護師教育課程 非常勤講師 心不全看護認定看護師教育課程 入試委員会(委員会参加・作問・試験面接官) 広島県循環器病相談支援・情報提供推進部会委員 学会シンポジウム・学会参加	5回/年 3回/年 3回/年 2回/年 1回/年・1回/年
	影山 紗季	2014(H26)年 看護師	院内	キャリアラダー慢性疾患専門別研修講師 心不全緩和ケアカンファレンス・介入 病床訪問(患者教育)	3回/年 2件/年 54件/年
			院外	院外研修講師	3件/年
認知症看護	上石 久子	2014(H26)年 主任看護師	院内	高齢者総合支援チーム委員 認知症ケア・せん妄対応チームラウンド 認知症ケア・せん妄対策チームカンファレンス 院内研修講師 もの忘れ外来 認知症ケアマニュアル改定実施 せん妄ケアマニュアル改定実施	1258件/年 68件/年 1回/年 150件/年
			院外	学会参加 認知症地域連携/パスワーキンググループメンバー	1回/年
	西川 博子	2015(H27)年	院内	高齢者総合支援チーム委員 認知症・せん妄対応ラウンド 院内研修講師 委員会研修 認知症ケア加算の運用フローの修正 認知症ケアマニュアル改定実施 せん妄ケアマニュアル改定実施 精神科リエゾンチーム	活動日毎週木曜日 5回/年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年 毎週木曜日
			院外	看護職員認知症対応力向上研修(ファシリテーター)	1回/年
糖尿病看護	山崎 優介	2016(H28)年 2018年特定行為 研修修了	院内	糖尿病チームメンバー 糖尿病看護外来(療養相談・フットケア・透析予防) RRTチーム チーム医療特定行為推進委員会 院内研修講師	毎週水曜日 1回/週ラウンド+オンコール 4回/年
			院外	日本糖尿病教育・看護学会理事 同上 政策委員会委員長 同上 研究推進委員 日本フットケア・足病医学会ガイドライン策定委員 広島県地域保健対策協議会糖尿病対策専門委員会 広島県糖尿病看護認定看護師会代表世話人 糖尿病腎不全看護研究会世話人 安佐糖尿病看護研究会代表世話人 学会発表 学会(講演・シンポジウム) 院外講師 看護研修学校認定看護師教育課程 非常勤講師 臨床検査技師タスクシフト/シエアの厚生労働大臣指定講習会 演習支援 2022年度特定行為研修指導者講習会 学習支援 執筆	2回 6回 13回 1回 5回 4回 5回
手術室看護	森脇 竜介	2021(R3)年 看護師	院内	周術期管理チーム TAVIカンファレンス・DryRunの実施 実践報告会発表	
			院外	日本手術看護学会中国地区 講師 日本手術看護学会 参加	

2) 2022年度看護部学会発表等

＜学会発表＞

○:発表者

No	月	日	部署	発表者	演題名	学会名(開催地)
1	6	25～ 7/31	手術センター	○江谷 知美 矢壁 克彦 鶴田 靖子	手術室における新たな指導方法～人口膝関節置換器械出し 看護師への動画を用いた指導～	日本手術看護学会中国地区大会
2	6	25～ 7/31	手術センター	○福原 凖乃 寺内 悦子	超緊急帝王切開シミュレーションを実践しての業務改善につ いて	日本手術看護学会中国地区大会
3	9	1～3	3A	○日野目 あゆみ 沖 朋恵 高橋 裕里 西 金田 本 千恵 公平 三田 耕 司	急性期病院における排尿自立支援～病棟リンクナース設置 の効果～	第29回日本排尿機能学会
4	9	17	救命救急外来	○山崎 優介	COVID-19感染拡大による糖尿病患者への教育・看護に関 する実態調査～看護師が捉えた地域連携への影響～	第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会
5	9	17	救命救急外来	山崎 優介他	COVID-19感染拡大による糖尿病患者への教育・看護に関 する実態調査～外来における教育・看護に焦点を当てて～	第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会
6	9	17	救命救急外来	○山本 優子 山崎 優介他	COVID-19感染拡大による糖尿病患者への教育・看護に関 する実態調査～病棟における教育・看護に焦点を当てて～	第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会
7	9	17	救命救急外来	○岡 佳子 山崎 優介他	COVID-19感染拡大による糖尿病患者への教育・看護に関 する実態調査～看護師がとらえた療養生活の困難さと心理的 苦痛～	第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会
8	11	1	救命救急外来	○山崎 優介	大血管障害のある糖尿病患者への救急外来での対応のボイ ント	第18回日本循環器看護学会学術集会
9	11	8	3C	○梶川 紗琴 角谷 奈美 岡田 美穂	コロナ渦における臨床実習を十分体験できなかった新人助産 師の思い	日本看護学会学術集会
10	11	9	3D	○有馬 奈月 堂迫 史子(5B) 沖田 恵	看護師のせん妄に対する意識調査～勉強会とアセスメント シートの導入を行って～	日本看護学会学術集会
11	11	9	救命救急外来	○山崎 優介	特定行為研修修了後の糖尿病看護特定認定看護師としての 活動	第53回日本看護学会学術集会
12	11	11	救命救急外来	○山崎 優介	糖尿病患者のAdvance Care Planningの考察ー重症低血 糖で死亡した事例よりー	日本糖尿病学会中国四国地方会第60回総会
13	12	4	救命救急外来	○山崎 優介	糖尿病看護特定認定看護師として考えるこれからのフットケ アー予防、治療、そして再発予防までー	第4回日本フットケア・足病医学会関西地方学術集会
14	1	21	4A	○西本 千恵 沖 朋恵	急性期病院における排尿ケアチームの活動～病棟リンクナース 設置の効果～	安佐医学会
15	1	21	4A	○檜原 千保	ウォーキングカンパニース導入後、現状から見える改善点	安佐医学会
16	2	26	通院治療センター	○小原 由里	レゴラフェニブ治療における症状マネジメントへの取り組みと 成果	がん看護学会
17	3	12	救命救急病棟	○小林 志津江	循環器疾患の課題と対策	第87回日本循環器学会学術集会

＜論文発表＞

No	部署	筆者	題名	雑誌名
1	救命救急外来	○檜原 直美 山崎 優介他	糖尿病重症化予防(フットケア)研修修了者へのブラッシュアップ研修開催報告研修 前後アンケートより研修評価と今後の課題	日本糖尿病教育・看護学会誌

＜誌上発表＞

No	部署	筆者	題名	雑誌名
1	手術センター	斎藤 貴志	コロナPPEについて	メディカ出版インフェクションコントロール
2	救命救急外来	山崎 優介	糖尿病患者とスティグマにまつわる事例紹介 周囲の影響で糖尿病について誤った知識をもつ患者 へのインスリン療法導入	糖尿病ケア
3	救命救急外来	山崎 優介	心不全と糖尿病の関係 疫学・病態と治療方針	月間ナーシング
4	救命救急外来	山崎 優介	心不全と合併している糖尿病患者のケアについて	月間ナーシング
5	救命救急外来	山崎 優介	スペシャリストの実践事例 心不全に比べ糖尿病への認識が低い患者の薬物療法・食事療法を継 続するための支援	月間ナーシング
6	救命救急外来	山崎 優介	ガイドライン編集	重症化予防のための足病診療ガイドライン

3) 2022年度 学会・研修参加

		月	日	部署	演題名・用務名	研修参加者	開催地・発表(開催場所)
1	2022	4	15	5A	地域及び自組織の課題のアセスメントと解決に向けた調整力の育成	牧田 加代子	オンライン
2	2022	6	25～26	5C	第27回日本老年看護学会学術集会	西川 博子	WEB開催
3	2022	6	7	3A	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	西岡 由香	オンライン
4	2022			3D		尾田 美恵	
5	2022			4B	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	小林 明美	オンライン
6	2022			4A		上田 淳子	
7	2022	6	19	4D		中川 美紀	
8	2022			救命救急外来		岩佐 有美	
9	2022			放射線科・内視鏡センター		宮崎 真由美	
10	2022			入退院支援室	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	大橋 美弥子	オンライン
11	2022			外来		原田 美樹	
12	2022			手術センター		寺内 悦子	
13	2022			3C		岡田 美穂	
14	2022			ベッドコントロール室		玉崎 泉子	
15	2022	6	26	5A		北東 貴光	
16	2022			5B		槌田 聖子	
17	2022			5C		岩佐 由美	
18	2022			通院治療センター		矢田 和美	
19	2022			TQMセンター		田村 真佐美	
20	2022			医療連携室		正田 マユミ	
21	2022	6	25～7/31	手術センター	第59回日本手術看護学会中国地区大会	福原 風乃	オンライン
22	2022					江谷 知美	
23	2022	6	27	TQMセンター	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	海田 恵子	オンライン
24	2022			救命救急病棟		鍵川 直子	
25	2022	7	6	救命救急外来	管理監督者研修	岩佐 有美	広島市
26	2022	7	7	3D	急変時のアセスメントと対応【基礎編】	野田 華帆	オンライン
27	2022					橋本 百香	
28	2022	7	14	救命救急外来	看護管理者研究会【災害編】	岩佐 有美	オンライン
29	2022			TQMセンター		海田 恵子	
30	2022	7	16	5A	第28回日本看護診断学会学術集会	上西 千代美	オンライン
31				4D		桂 鮎美	
32	2022	7	19～20	3D	災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	石橋 美由紀	広島県看護協会
33		7	22～23	4D	第23回日本医療情報学会看護学術大会	中川 美紀	長崎市
34		7	23	3A	在宅緩和ケア	佐藤 つぐみ	オンライン
35	2022	7	25	通院治療センター	がん化学療法を受ける患者の看護ケア	青木 真理	オンライン
36	2022			3A		落田 静香	
37	2022	7	29	4D	ACP(アドバンス、ケア、プランニング)	檜原 千保	オンライン
38	2022			4B		山田 ひかる	
39	2022	8	3	4C	重症度・医療、看護必要度 評価者及び院内指導者研修	森繁 優衣	オンライン
40		8	4	4D	重症度・医療、看護必要度 評価者及び院内指導者研修	加藤 遥	オンライン
41	2022			3D	重症度・医療、看護必要度 評価者及び院内指導者研修	高崎 俊	オンライン
42		8	12	3A		佐藤 つぐみ	
43				5B		小笠原 美紅	
44				4B		品川 智子	
45		8	15	5A	重症度・医療、看護必要度 評価者及び院内指導者研修	渡壁 怜美	オンライン
46	2022	8	18	救命救急病棟	重症度・医療、看護必要度 評価者及び院内指導者研修	金永 のぞみ	オンライン
47		8	19～20	3D	日本看護管理学会が記述集会	石橋 美由紀	オンライン
48				5B		栗原 絵美	
49	2022	8	23	4A	重症度・医療、看護必要度 評価者及び院内指導者研修	山村 星来	オンライン
50				5B	病棟ナースができる退院支援【基礎編】	柳田 世葉	オンライン
51		8	24	4C		増岡 礼佳	
52				3D		本地 実紗	
53		8	25	ICU	今さら聞けない実践で使える看護倫理	田中 久美子	オンライン
54		8	28	中央材料室	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	中村 祥乃	オンライン
55				看護部室		玉田 真弓	
56		8	29	4D	今さら聞けない実践で使える看護倫理	竹友 美千代	オンライン
57	2022	9	1	3A	第29回日本排泄機能学会	日野目 あゆみ	札幌市
58	2022			5B	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	中村 知果	広島県看護協会
59				3D		有馬 奈月	
60		9	1.2	3A		石津 智香	
61				3A		藤本 美奈	
62	2022			ICU		栗栖 響平	
63	2022			3C		近藤 有紗	
64		9	4	4C	周術期における看護	森繁 優衣	広島県看護協会
65		9	5.6	3A	緩和ケア看護師研修	橋本 優	広島県看護協会
66		9	8	4A	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	平田 智恵	オンライン
67		9	9	看護部室	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	近森 さつき	オンライン
68						野村 弘美	
69	2022	9	17.18	救命救急外来	第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	山崎 優介	大阪市
70		9	30	3D	こどものフィジカルアセスメント	西本 香葉	広島県看護協会
71		10	3.4	5B	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	西本 梨紗	福山市
72		10	4	救命救急病棟	高齢者看護の基礎知識	酒井 奏	広島県看護協会
73	2022	10	8.9.15.11/19	4B	中国ストーリーナビテーション講習会	山田 恵美	WEB開催

74	2022			5B	第19回日本循環器看護学会学術集会	秦 麻菜美	牧方市
75		10	1.2			影山 紗季	
76				救命救急外来		山崎 優介	
77	2022	10	8.9.10	入退院支援室	看護職員認知症対応力向上研修	大橋 美弥子	広島県看護協会
78	2022			4D		中川 美紀	
79	2022	10	21～23	救命救急病棟		小林 志津江	
80	2022	10	26	5B	慢性心不全患者の理解と看護ケア【ステップアップ編】	濱崎 純奈	オンライン
81	2022	10	28～31	看護部室	研修責任者研修	玉田 真弓	広島県看護協会
82	2022	10	28.29	5C	第29回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム	松田 成美	オンライン
83	2022	11	4	5C	医療安全管理者養成研修	岩佐 由美	広島県看護協会
84	2022	11	4.5	手術センター	第36回日本手術看護学会年次大会	森脇 竜一	名古屋市
85	2022		8.9	3C	第53回日本看護学会学術集会	梶川 紗琴	千葉市
86		11		3D		有馬 奈月	
87		11	10.11	TQMセンター		田村 真佐美	
88		11	11	3C	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	阿部 優子	オンライン
89		11	11.12	4B	第22回日本クリニカルバス学会学術集会	佐々木 理子	岐阜市
90				3A		高島 凌平	
91		11	11.12	4A		平田 智恵	
92		11	169	5C	看護記録の基礎とポイント	前田 美幸	オンライン
93		11	26.27	5C	第17回医療の質・安全学会学術集会	岩佐 由美	神戸市
94	2022			ICU	災害支援ナース育成研修	平尾 尚也	広島県看護協会
95		11	22.23	救命救急病棟		林 敬太	
96				3D		石橋 美由紀	
97	2022			救命救急外来	感染管理【実践編】	福川 恭子	広島県看護協会
98		12	12.13.21.22	救命救急病棟		中西 浩	
99	2022			5C		佐藤 有里	広島県看護協会
100				救命救急外来	看護マネジメントの基礎	松尾 和可子	
101		12	13.14.15	4D		桂 鮎美	
102				救命救急外来		沖元 由依	
103	2022			4B		品川 智子	
104	2022	1	14.21.22	3A	教育担当者研修	日野目 あゆみ	広島県看護協会
105		1	18.19.20	5B	実地指導者研修	中村 知果	広島県看護協会
106	2022			3D		竹本 亜果音	
107	2022	2	4.5	救命救急病棟	シミュレーション研修のための指導者育成プログラム	石井 千雪	広島県看護協会
108		2	10	3B	広がる精神科看護の働き	櫻本 輝美	WEB開催
109	2022	2	18	3D	看護マネジメントリフレクション	中川 敬子	広島県看護協会
110				ICU		作本 直美	
111		2	18	4B		小林 明美	
112		2	24.25	医療連携室	第40回ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	神田 光太郎	東京都
113		3	2.3.4	ICU	第50回日本集中治療医学会学術集会	鈴木 美香	京都府
114		3	9.10.11	救命救急外来	第28回日本災害医学会総会学術集会	長見 由美	盛岡市

4) 2022年度 教育活動(非常勤講師その他)

		月	日		科目・研修会名等	場所・開催運営	講師者
1	2022	4	5	講師	チーム医療を考える会	マツダ病院	小林 志津江
2	2022	4	10	講師	タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省大臣指定講習会	広島市医師会看護専門学校	山崎 優介
3	2022	4	24	講師	コロプラストオンラインセミナー	安佐市民病院	神田 光太郎
4	2022	5		講師	成人看護方法論Ⅰ(ストマケア)	広島市立看護専門学校	神田 光太郎
5	2022	6		講師	成人看護方法論Ⅰ(心不全、心臓リハビリテーション)	広島市立看護専門学校	影山 紗季
6	2022	6	12	講師	タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省大臣指定講習会	広島県福山市市民病院	山崎 優介
7	2022	6	14	講師	第8回ファーストエイド(基礎編)	広島大学病院看護実践教育研修センター	長見 由美
8	2022	6	14	講師	2022年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程	広島県看護協会	松原 朱美
9	2022	6		講師	成人看護方法論Ⅰ(心不全、心臓リハビリテーション)	広島市立看護専門学校	影山 紗季
10	2022	6	25～7/31	講師	中国地区手術看護認定看護師セミナー「新人教育」	WEB開催	森脇 竜一
11	2022	6		講師	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	広島県看護協会	升田 志保
12	2022	7	28	講師	後方支援病院として	日比野病院	大橋 美弥子
長田有紀							
14	2022	7	28	講師	就職・進路ガイダンス	広島県立大学	田原 唯依
15	2022	7		講師	統合看護総論Ⅱ(看護管理)	広島市立看護専門学校	近森 さつき
16	2022	8	9	講師	新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修	広島県看護協会	石橋 美由紀
17	2022	8	30	講師	糖尿病看護認定看護師セミナー	WEB開催	山崎 優介
18	2022	9	2	講師	2022年度認定看護師教育課程 糖尿病看護学科	日本看護協会看護研修学校	山崎 優介
19	2022	9	6	講師	復職支援研修	広島県看護協会	石崎 ひとみ
20	2022	9	22	講師	新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修	広島県看護協会	石橋 美由紀
21	2022	9	22	講師	みんなで話そう-看護の出前授業	広島市立安佐中学校	角谷 奈美
22	2022	10	1	講師	第19回日本循環器看護学会学術集会 シンポジウム	牧方市総合文化芸術センター	山崎 優介
23	2022	10		講師	統合看護総論Ⅱ(医療安全)	広島市立看護専門学校	田村 真佐美
24	2022	10	6	講師	災害支援ナースフォローアップ研修	広島県看護協会	長見 由美
25	2022	10	8	講師	第32回中国ストーリーリハビリテーション講習会	中国ストーリーリハビリテーション実行委員会	神田 光太郎
26	2022	10	11	講師	isCGMセミナー	WEB開催	山崎 優介
27	2022	10	15	講師	第32回中国ストーリーリハビリテーション講習会	中国ストーリーリハビリテーション実行委員会	神田 光太郎
28	2022	10	16	講師	新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修	広島県看護協会	石橋 美由紀
29	2022	10	16	講師	多職種KAMPOセミナー	TKPガーデンシティ	上石 久子

30	2022	10						
31	2022	10	20		統合看護方法論Ⅱ(演習)	広島市立看護専門学校	山田 恵美	
32	2022	10					石井 真美	
33	2022	10	22	講師	救急蘇生研修会	広島県看護協会	藪 真世	
34	2022	10					長見 由美	
35	2022	10					佐々井 優	
36	2022	10	22		救急蘇生研修会	広島県看護協会	森原 大輔	
37	2022	10					栗原 絵美	
38	2022	10					山田 三菜子	
39	2022	10	24		2022年度認定看護管理者ファーストレベル統合演習Ⅱ	広島県看護協会	竹本 沙織	
40	2022	10	25	講師	認定看護師教育課程(B過程)心不全患者の療養支援	川崎医療福祉大学	正田 マユミ	
41	2022	10	26	講師	慢性心不全患者の理解と看護ケア【ステップアップ編】	広島県看護協会	小林 志津江	
42	2022	10	27	講師	フットケア	WEB開催	山崎 優介	
43	2022	10	269	講師	救急蘇生研修会	広島県看護協会	長見 由美	
44	2022	10					中村 知果	
45	2022	10	29		救急蘇生研修会	広島県看護協会	川崎 輝昭	
46	2022	10					豊 大輔	
47	2022	10					福原 凧乃	
48	2022	10		講師	統合看護総論:感染管理	広島市立看護専門学校	森合 真治	
49	2022	11		講師	成人看護方法論Ⅳ(がん化学療法)	広島市立看護専門学校	小原 由里	
50	2022	11	2	講師	認定看護師教育課程(B過程)心不全患者の療養支援	川崎医療福祉大学	小林 志津江	
51	2022	11	5	講師	認定看護師教育課程(B過程)心不全患者の療養支援	川崎医療福祉大学	小林 志津江	
52	2022	11	5		2022年度認定看護管理者ファーストレベル 統合演習Ⅰ	広島大学病院看護実践教育研修センター	近森 さつき	
53	2022	11	6	講師	第23回備後糖尿病療養指導士会	WEB開催	山崎 優介	
54	2022	11	8	講師	S-QUEクリニカルラダー別研修	ヴェクソンインターナショナル	山崎 優介	
55	2022	11	8	講師	S-QUE院内研修1000'Eナース	ヴェクソンインターナショナル	山崎 優介	
56	2022	11	9	講師	第53回日本看護学会学術集会 交流会「特定認定看護師の実際の活動～特定行為研修修了後の活動の変化や成果～」	幕張メッセ	山崎 優介	
57	2022	11	5		退院調整看護師養成研修	広島県看護協会	大橋 美弥子	
58	2022	11	5		2022年度認定看護管理者ファーストレベル 統合演習Ⅰ	広島大学病院看護実践教育研修センター	近森 さつき	
59	2022	11	16		2022年度認定看護管理者 セカンドレベル 統合演習	広島県看護協会	近森 さつき	
60	2022	11	17	講師	在宅医療・介護連携を推進するための研修会	広島市安佐北区医師会	正田 マユミ	
61	2022	11	19		2022年度認定看護管理者ファーストレベル 統合演習Ⅰ	広島大学病院看護実践教育研修センター	近森 さつき	
62	2022	11	19	講師	第32回中国ストーマリハビリテーション講習会	中国ストーマリハビリテーション実行委員会	神田 光太郎	
63	2022	11	24	講師	第6回 CDEオンラインセミナー	TKPガーデンシティ	山崎 優介	
64	2022	11	25		2022年度認定看護管理者ファーストレベル統合演習Ⅱ	広島県看護協会	正田 マユミ	
65	2022	11	26		2022年度認定看護管理者ファーストレベル 統合演習Ⅰ	広島大学病院看護実践教育研修センター	近森 さつき	
66	2022	11	26	講師	第32回中国ストーマリハビリテーション講習会	中国ストーマリハビリテーション実行委員会	神田 光太郎	
67	2022	11	27	講師	糖尿病看護セミナー	WEB開催	山崎 優介	
68	2022	11	27		がんのリハビリテーション研修会	広島大学	伊藤 美幸	
69	2022	11	28		2022年度認定看護管理者 セカンドレベル 統合演習	広島県看護協会	近森 さつき	
70	2022	11	16	講師	糖尿病患者の救急対応と患者教育のポイント	第5回みんなで支える東葛地区糖尿病研究会	山崎 優介	
71	2022	12	4	講師	エキスパートナースが贈る2023年へのキーワード:在宅・予防・特定行為	京都市勧業館	山崎 優介	
72	2022	12	6	講師	アボットジャパン糖尿病ケア研修会	WEB開催	山崎 優介	
73	2022	12	8		2022年度認定看護管理者 セカンドレベル 統合演習	広島県看護協会	近森 さつき	
74	2022	12	9	講師	特定行為研修修了者の働き方をマネジメントする	京都府病院協会	松原 朱美	
75	2022	12	10	講師	看護研究ワークショップ 事例研究入門セミナー	WEB開催	山崎 優介	
76	2022	12	11	講師	タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省大臣指定講習会	広島市医師会看護専門学校	山崎 優介	
77	2022	12	18	講師	第28回広島感染防止及び滅菌業務研究会	WEB開催	斎藤 貴志	
78	2023	1	19	講師	広島県循環器病(脳卒中・心血管疾患)に係る地域連携セミナー	広島県健康福祉局健康づくり推進	小林 志津江	
79	2023	1					山崎 優介	
80	2023	1	28	講師	特定看護師について	広島県看護協会	小林 志津江	
81	2023	1	20	講師	復職支援研修	広島県看護協会	石崎 ひとみ	
82	2023	2	26	講師	第37回日本がん看護学会学術集会 2023年度教育セミナー18	パシフィコ横浜	小原 由里	
83	2023	2	27	講師	専門職とキャリア形成について	広島県立皆実高等学校	石川 裕吏加	
84	2023	3	12	講師	タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省大臣指定講習会	広島県福山市民病院	山崎 優介	
85	2023	3	19	講師	アボットジャパン糖尿病ケア研修会	WEB開催	山崎 優介	

5) 2022年度社会貢献

	社会的活動	名前	役割	主催
1	令和3年度在宅医療の人材(訪問看護)確保推進事業に係る看護師の相互交流派遣研修事業連絡会	松原 朱美	委員	広島県看護協会
2	広島県看護協会北支部理事	松原 朱美	理事	広島県看護協会
3	広島大学ファーストヘル教育課程運営・審査委員会	松原 朱美	委員	広島大学病院
4	広島赤十字・原爆病院地域医療支援病院運営委員会	松原 朱美	委員	広島赤十字・原爆病院
5	広島県看護協会北支部 教育担当	宗利 早苗	委員	広島県看護協会北支部
6	広島県看護協会看護師職能委員会	岩佐 有美	委員	広島県看護協会
7	広島県看護協会助産師職能委員会	阿部 優子	委員	広島県看護協会
8	日本手術看護学会広島分会役員会	寺内 悦子	分会会長	日本手術看護学会中国地区広島分会
9	日本手術看護学会中国地区役員会	寺内 悦子	役員	日本手術看護学会中国地区
10	日本糖尿病教育・看護学会	山崎 優介	理事	日本糖尿病教育・看護学会
11	日本糖尿病教育・看護学会 政策委員会	山崎 優介	委員長	日本糖尿病教育・看護学会
12	日本糖尿病教育・看護学会 研究推進委員会	山崎 優介	委員	日本糖尿病教育・看護学会
13	広島市立三入小学校 学校運営協議会	神田 光太郎	委員	広島市立教育委員会
14	中国ストーリーリハビリテーション講習会	神田 光太郎	運営協力	中国ストーリーリハビリテーション講習会実行委員会
15	広島県看護連盟広報担当	原田 美樹	委員	広島県看護連盟
16	認定看護師教育課程委員会	小林 志津江	委員	川崎医療福祉大学
17	広島県循環器病相談支援・情報提供推進部会	小林 志津江	委員	広島県健康福祉局健康づくり推進
18	日本フットケア・足病医学会ガイドライン委員会	山崎 優介	委員	日本フットケア・足病医学会
19	看護職員、及び病院勤務以外の看護師等認知症対応向上研修検討会	西川 博子	委員	広島県看護協会
20	在宅緩和ケア推進ワーキンググループ会議	伊藤 美由紀	オブザーバー	芸北地域保健対策協議会

7. 2022年度臨地実習受入予定学校一覧

学校名	分野	延べ学生数
県立広島大学助産学専攻	助産学	0
広島市立看護専門学校 第一看護学科	基礎看護学Ⅰ、Ⅱ	234
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	1080
	母性看護学	384
	老年看護学	180
	看護の統合と実践	180
広島市立看護専門学校 第二看護学科	基礎看護学Ⅰ	144
	在宅看護論	9
	統合看護	180
安田女子大学看護学部	基礎看護学Ⅰ、Ⅱ	48
	成人看護学	504
	母性看護学	108
	助産学	0
川崎医療福祉大学 看護実践・キャリアサポートセンター 認定看護分野(B課程) 心不全看護分野		2
日本赤十字広島看護大学	小児看護学	0
	母性看護学	0
広島国際大学看護学部看護学科	統合看護学	0
穴吹医療大学校看護学科通信課程	基礎看護学	0
	成人看護学	0
	老年看護学	0
	母性看護学	0
	統合実習	0
日本医療学園付属東亜看護学院	専門分野Ⅱ（成人）	0
	（老年）	0
	（小児）	0
	（母性）	0
	看護の統合と実践	0
安佐准看護学院	基礎看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	0
	成人看護学	504
	老年看護学	0
	母性看護学	0
	小児看護学	0
総計		3557